



湖西中だより

No. 20

湖西の風

「生徒信条」

◇心身の健康 ◇真理の探求
◇勤労の愛好 ◇情操の陶冶

令和7年3月7日 文責 村田

少し前のことになりますが、2月12日（水）の放課後、生徒会執行部11名が、一般社団法人あすラボさん主催の「中学生哲学カフェ」に参加しました。

少年センターあすくるとあすラボの方々の進行やサポートを受けながら、約1時間、「地域の発展」というテーマについて話し合いをしました。

湖西中学校では、地域の「ひと・もの・こと」との出会いや多様な体験的活動から学び、普段の授業や諸活動での学びにしっかり向きあうことで、「心豊かでたくましく生きる生徒」を育成し、地域に愛着をもち地域に貢献しようとする心情を育てたいとして教育活動を推進しています。

今回の「湖西の風」では、今後の湖西中学校を引っ張っていく立場にいる生徒会執行部メンバーが、どんなことを考え、発言してくれていたのかを紹介させていただきます。今後が楽しみだと感じさせてくれる内容でもあるので、皆さんと共有させていただきます。

文書は、少年センターあすくるとがまとめてくださったものです。

さて、本日行った「3年生を送る会」では、執行部メンバーが中心となり、とても気持ちのよい、温かい雰囲気行事をつくってくれました。3年生にとって中学校生活最後の生徒会行事となった3年生を送る会は、きっと心に残るいいものとなったと思います。

いよいよ3月11日（火）は、湖西中学校第77回目となる卒業証書授与式です。
卒業生104名の輝かしい未来を祈念し、感動いっぱいの卒業式を全員でつくりたいと思います。

哲学対話

1. 流れ：①導入（哲学対話って？）

- ②対話のルール説明
- ③質問の練習
- ④哲学対話

2. テーマ「地域の発展」に対する問いだし（挙手により問いを選んだ）

- ① そもそも発展とは何か/地域の発展の目標はどんなものか/どうなれば発展なのか（3人）
- ② 地域とはどの規模、範囲を言うのか（0人）
- ③ そもそも地域は発展すべきなのか（7人）
- ④ 地域はどうやって発展していくのか/今まで発展に向けてどんな取組があったか/発展に向けて誰がどんなことをしていけばいいか（8人）
- ⑤ 自分たちの地域は発展しているか（0人）
- ⑥ 自分たちは何ができるか（6人）

3. 問い「地域はどのように発展していくのか」についての対話(抜粋)

- そもそも発展とは何かを考えてみると都会のようにビルが建ち並ぶことなのか、人口が増えることなのか、それによって違ってくる
- 理想の発展を決めるのは、実際選挙で選んだ人たちが決めるかもしれないが、選ばれた人以外の人もどんどん意見を言ってそれを取り入れていくと地域の目標ができる
- 選挙で電車バス交通のことを盛んに言っていたが、そういう物理的な発展だけだろうか
- 自然がいっぱいの高島市の良いところをもっと市外の人に伝えて、高島っていいよねと思ってもらえると発展につながる
- 県外の美術展へ行ったら七川祭りの写真があった、撮ったのは地元の人ではなかった。高島市のいいところを見つけて発信している
- 東京のような商業的な発展と、観光で人が多く訪れる発展がある
- 自然を守る、維持することは大事、自然を活かした発展がある
- 人口が多いところはなんでもあって便利、少ないところは不便
- 地域を維持するのも、お祭りをするのも人が少ないとできない
- 高島市でビルが増えても住んでいる人はうれしくないのではないか
- 京都へ校外学習に行ったとき外国人観光客が多すぎて地元の人がバスに乗れないと聞いた
- 誰にとっての発展か？（観光で訪れる人のためか住んでいる人のためか…）
- 京都などの観光地では景観条例があって勝手に建て替えたりできないと聞く、観光客のために住んでいる人が強いられていることがある
- 観光発展するのはいいが、オーバーツーリズムなどの問題があり、住んでいる人との共生ができるといい
- 両親にどうしてここに家を建てたのかと聞いたら、静かで景色、空気がいいからと言っていた。何かのランキングで滋賀県は空気のきれいさが上位だった
- 移住者が増えるのはうれしい
- 住んでいる人のためにはありのままを維持して、それが高島市の魅力になる

4. 生徒感想(原文まま)

- 普段はあまり気にしない視点、たとえば「そもそも発展すべきなのか」など面白い話題が出てきて全く違う話し合いができたのですごくよかったし、こんなやり方もあるんだなと少し驚いた。これからも機会があればこんな対話の場を設けたいと思った。
- 今日は「地域はどのように発展するのか」について、発言をすることはできなかったけど、発展させるためには観光を増やしたり、その地域だけでの自然を知ってもらったりするのが大切だと話を聞いていて思いました。テーマについて話すことは難しいことだけど、話を聞くだけでも自分の考えをもっと深めることができました。今回の話し合いをして、自分の思ったことはみんなに伝えることが大切だと知ることができました。もしこのように意見

を言う場合があったら、自分の思いを伝えられるようにしようと思いました。

- 発言をする人を決めることで、聞こうとする思いが増えたりするのでとてもいいなと思いました。テーマをどんどん深く話してみると、最初とは違った考えが生まれたり、複数の考えが生まれたりしました。今回、発言をすることはできなかったけれど、一つのテーマを真剣に考えるのはとても大切なことだなと思いました。最初は「発展とは人口を増やすこと」と考えていましたが、最後は「一度他の地域へ行ってしまってもまたもどりたいと思う地域」に変化しました。
- 最初に「哲学カフェ」と聞いて難しそうだと思っていたけど、自由に発言できたり、全員で一つの話題について考えたりできてとても楽しかったです。授業で友達と話し合うときよりも、自分の意見をしっかり相手に伝えられました。「地域の発展」というテーマだけでも高島市や、観光業、他地域のことなどいろいろなところにつながっておもしろかったです。私たちのために計画してくださりありがとうございました。全員にとって貴重な体験になったと思います。
- 「地域の発展」というテーマをもとに、それぞれ個人が思ったことを発言することができるという点が特に良いと思いました。さらに、他の人の意見を聞いて自分の最初の意見からさらに深め、より具体的に考えることができました。また、一つのテーマから話を深めることで、普段はいくつもの話題を変えて話しているのとは違い、真剣に集中して考えることができました。今日は来て話してくださり、ありがとうございました。
- 話を掘り下げていくうちにだんだんワクワクしてきて、普段全く考えない高島市の自然などについて考えられたし、もしこれから発展させていくならどのように観光業を増やしていきたいかなど、話し合えてよかったです。めっちゃ楽しかったし、またしたいです！！
- 自分が住んでいるまちについて、こんなに深く考えたのは初めてで、未来の高島市の発展の工夫や、どのように発展していくのかを全員で意見を出し合い、考えることができました。また、自分ができる最低限の発展の仕方も考えることができました。
- 会議中、僕は皆さんの意見を参考に自分の意見を考えていました。僕はあまり自分の地域の発展した姿や未来を考えたりしたことがなかったので、とても良い経験になりました。会議中は緊張して全然意見を言えませんでした。僕は今の新旭の雰囲気や環境を大切にしたいまま発展させたらいいのかなと思いました。短い時間でしたが、楽しかったです。ありがとうございました。
- 最初に哲学と聞いて、難しそうや、大変そうといったイメージをもって「話についていけるかな？」「発言できるかな？」といった不安な気持ちが多かったです。だけど、話してみると、温かい雰囲気で話しやすかったし、哲学なんて話すことができないと思っていたけど、思ったことをそのまま話すことができてよかったです。最初のイメージから変わって、最後は楽しいとかおもしろいという気持ちが生まれてきたので、これからも哲学的な対話を大切にしていきたいと思いました。

- 今日は哲学対話体験をしていただきありがとうございました。地域の発展についてあまり考えたことがありませんでしたが、深く、新しく楽しく話することができてよかったです。対話が終わった後も、話の続きができて、周りの人とのコミュニケーションをとることができました。
- 地域の発展について皆さんの意見を聞くことができました。一つの意見に考えることは大変で、僕は発表するタイミングを見てしまっていたので、そんなことは気にせず自分の意見を、自信をもって言えるようにしたいと思います。短い時間でしたが、自分の欠点や地域の発展について深めることができました。ありがとうございました。

5. 進行役感想

2年生を中心に、半数以上の生徒が自分の考えを積極的に話していました。発言をしなかった生徒も人の意見を真剣に聞こうとする姿勢があり、自分なりに思考していたように見受けられました。

テーマが「地域の発展」ということで、自分たちが住んでいる高島市をどのように受け止めているのかを垣間見ることができ興味深かったです。発展はいいことだ、今の高島市が魅力的であるという前提で話していたようであり、本当に魅力的なのか、自分たちは住みたいと思えるまちなのか、発展すれば幸せなのか、など掘り下げる問いが出てくると、より哲学対話的な展開になったのであらうと思います。

職業体験や親との会話の中で考えたことや、市長選挙の際に見聞きした意見や知識などをテーマと関連付けて考え、それを言葉にして伝えることができていました。発言がまとまらなかった生徒もいましたが、「それってこういうことが言いたかったのかな」と別の生徒がフォローする場面もありました。自分の考えばかりを主張するのではなく、人の考えを理解しようと皆が聞きあうことができていました。対話しながら一緒に考えることが楽しいと感じられる体験となったように思います。

